

2012 Formula Nippon Rd.1
SUZUKA CIRCUIT
14 APRIL 2012

予選



2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポンが鈴鹿で開幕戦を迎え、PETRONAS TEAM TOM'S のドライバー中嶋一貴とアンドレ・ロッテラーは、それぞれ予選3位、6位となった。

- 中嶋は、予選3位で2012シーズンを良い形でスタートした。
- ロッテラーは、不安定な車にてこずり、予選6位となった。
- 2台は明日の決勝を、2列目、3列目からスタートする。

Drivers	Car No.	Q1	Q2	Q3
Andre Lotterer	1	P4 1:40.645	P7 1:40.268	P6 1:40.520
Kazuki Nakajima	2	P3 1:40.444	P2 1:39.988	P3 1:39.705
Weather	Fine/Dry partly wet			
Temperatures	Air: 16-16 C	Track: 19-25 C		

ANDRE LOTTERER (Driver for car No.1)

“(車が)どうも何かおかしい。昨日の練習走行ではまあまあだったのが、予選では安定していなかった。いつもは、Q1からQ3まで簡単に行けたが、今日はQ2で7位となり、もう少しでQ3進出を逃すところだった。予選中ずっとリアが不安定で、Q3では、初めの区間はとても良かったが、次の右コーナーではフロントが沈み込み、リアが浮かび上がってしまい、どうしようもなかった。とにかく今日の予選は苦勞した。最後の最後にプッシュしたが、タイムアップすることができなかった。明日朝の走行で正しいセットアップが見つかり、決勝に臨むことができることを期待しています”

中嶋 一貴 (Driver for car No.2)

“今年初めの予選で3番手となったのは、昨年と比べても良かったので満足しています。しかし、前にまだ2台いるので、今後予選に対して何かしなければなりません。昨年1年の経験で、自分としては、安定した走りができ、短い準備時間でまとめ上げてくれたエンジニアやメカニックにお礼を言いたい。基本的に車の状態は良く、タイヤの摩耗具合も良いので、決勝に向けて何も心配事はありません。明日はベストを尽くし、良い結果を出します。”

東條 力 (Engineer for car No. 1)

“アンドレの車は完ぺきではなかったため、Q1、Q2、Q3と変化する路面状況に対応できなかった。良い結果が得られず、彼には申し訳なかった。データを見たところ、第2区間までは良かったが、第3区間で苦勞していたので、決勝に向けて対策しなければなりません。6番手からのスタートなので、順位を上げる良い戦略を建てます”

小枝 正樹 (Engineer for car No. 2)

“今日の一貴の結果はとても良かった。シーズン前テスト後に、大幅な改善ができました。予選3位は嬉しいことですが、ホンダエンジン搭載車に遅れをとっており、セットアップの方向は正しいが、対策が必要です。一貴は決勝に強いので期待しています”

舘 信秀 (Team Director)

“一貴が予選3位を得る改善を喜ばしく思いますが、アンドレは何かおかしく6位だったので、困惑しています。決勝に向けてスタッフが車を良くしてくれると思うので、明日の決勝はアンドレも一貴も表彰台に上られることを期待します”

2012 Formula Nippon Rd.1
SUZUKA CIRCUIT
15 APRIL 2012

決勝



PETRONAS TEAM TOM'S のドライバー中嶋一貴は、2012年シーズン開幕戦鈴鹿で優勝した。2011年のチャンピオン、アンドレ・ロッターは、6番手スタートから5位フィニッシュとなった。

- 中嶋はスタートで3番手から一つ順位を上げた。ピットイン後は終始、トップを維持して走行した。
- ロッターもいつも通りスタートで一つ順位を上げ、前を走る7号車の大嶋にプレッシャーをかけ続けた。
- 中嶋は後続の塚越とのギャップを広げ、優勝した。

Drivers	Car No.	Result / Fastest Lap
Andre Lotterer	1	P5 1:43.028
Kazuki Nakajima	2	P1 1:42.898
Weather	Sunny	
Temperatures	Air: 19-17	Track: 27-23

中嶋 一貴 (Driver for car No.2)

“今日は優勝できてとてもうれしい。自分にとっても、チームにとっても良いシーズンのスタートを切れたと思います。スタートが良く、2番手で塚越を追う形になりました。レースでの車が良いことは分かっており、ピットストップでスタッフが素早い作業をしてくれると信じていました。ピットストップ後トップを走り、塚越との距離を保ちました。次戦もてぎでもさらに前進できるよう全力を尽くし、また勝てたらと思います”

ANDRE LOTTERER (Driver for car No.1)

“今朝の走行でラップタイムが良かったことから、我々のポテンシャルは高かったが、6番手からのスタートは大変難しいレースとなった。いつものように、スタートで一つ順位を上げ、大嶋の背後につけたが、彼は早くもなく遅くもなかったため、前車に接近したことによるダウンフォース不足で追い抜くまでには至らなかった。今日はとてもフラストレーションがたまるレースだった。チームとしては一貴が勝ったことで良かったが、次戦もてぎでは自分が勝てるとうれしい”

東條 力 (Engineer for car No. 1)

“アンドレは良いスタートをしたが、スタートからフィニッシュまで大嶋の背後につける難しいレースとなった。大嶋に近づくと十分なダウンフォースを得ることができずに苦労していた。車は良かったが、6番手からのスタートが今週の問題点だった。予選で良い車を作れるよう頑張り、もてぎでアンドレが勝てることを期待します”

小枝 正樹 (Engineer for car No. 2)

“当然今日の優勝はとてもうれしい。シーズン前に良いセッティングを見つけ、鈴鹿で証明できた。勝てるようになりました。一貴をトップにし、優勝に導いた迅速なピット作業に感謝します。もてぎでも良いレースができる自信があります”

舘 信秀 (Team Director)

“一貴が優勝できて大変うれしい。元F1ドライバーとしてのパフォーマンスに当然疑問の余地はありませんが、昨年の経験から学びフォーミュラ・ニッポンでもトップドライバーとなったと思います。アンドレはスタートからフィニッシュまで大嶋を抜くことができず苦しかったと思います。しかし、もてぎでパフォーマンスの高さを再度お見せできると思います”